

めぐりあい

第3号 6月27日



発行/NPO法人はらまちクラブ理事長 江本節子
〒975-0071 南相馬市原町区深野字台畑 15-2
電話番号：090-8258-0840
メール：emoto@npoharamachiclub.jp
emoto8@ezweb.ne.jp
emoto88@ybb.ne.jp

この情報誌は、NPO法人はらまちクラブ公式サイト (<http://npoharamachiclub.jp>) および
南相馬市ふるさと元気応援団サイト (<http://genki.npoharamachiclub.jp>) よりダウンロードできます。

政府へのささやかなアッピール
安全で 安心できる 分かりやすい
私たち住民が自らも理解して行動できる
ガイドライン (行動仕様) を示して下さい!

原発・震災の1ヶ月目は夢のよう 2ヶ月目は
現実を知り 3ヶ月目は涙の季節、そして4ヶ月
目以降のこれからは苦悩のとき、誰もの心が心配
です。

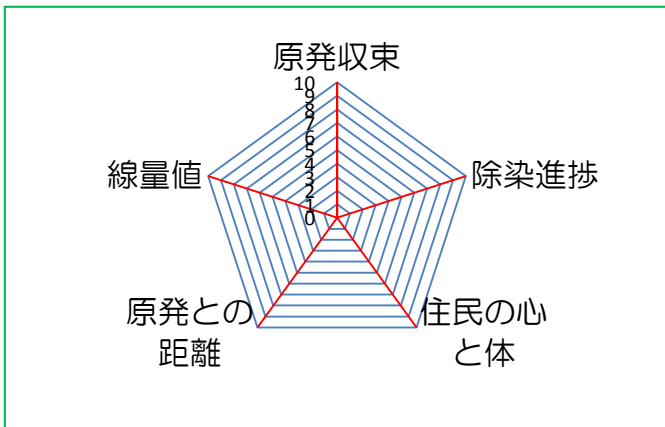
政府も4ヶ月目の今はこれからの想定が相当
可能だと思います。これ以上被災者の私たちを翻
弄しないでください。私たちは日常を取り戻した
い!

1、例えば下図のようなものに必要項目を加える
などして、すべてレベル評価し、それぞれの項目
ごとの合計数値によって、【避難・警戒】【屋内退
避・緊急時避難準備】の指定・決定及び解除など
を行なうこと。

2、計画的避難区域や特定避難勧奨地点の指定な
どに加え、これ以上新区域名称をつくらないこ
と。

混乱と不公平を囲うだけです。

3、復興計画は真の住民の声が反映されたもので
あること。 (図 emoto230624)



原発収束…工程表などによる

線量…安全安心な数値、年齢ほかの条件考慮
侮らず・怖がらず・正確に

除染…ふるさとをきれいにして下さい

原発との距離…確なデータを基に

住民の心と体…人命優先です

みな戻る その日待ち侘び 除染する

孫の声なし ふるさとの空 emo

応援メッセージ

萩原美樹子さん

福島市出身
元プロバスケット
ボール選手
バスケットボール
指導者



福島市出身、元バスケットボール選手の萩原美樹
子です。

この度被災なさった方々に、心よりお見舞いを申
し上げます。美しいふるさとが、薫風と新緑でさら
に輝く時節なのに、戸外でそれを楽しむこともまま
ならず、また毎年楽しみにしているだろう子どもた
ちの運動会が、晴天にもかかわらず体育館で行われ
ているニュースなどを目にするたび、どうしてふる
さとがこんなことになっているのだろう、と胸が張
り裂けそうになります。

GWにほんの少しですが、避難所を訪れて子ども
たちと遊んだり、ほんとにささやかなお手伝いなど
をいたしました。本当につらい状況を、淡々と、そ
して時に笑顔で過ごしつつ、逆にこちらにお礼など
を言って下さる皆さんに実際に触れて、いま本当に
私たちがしなければならないことって何なのだろ
う、と改めて深く考えさせられました。

今の状況が少しでも早く、そして少しでも良い方
向に改善されてくれることを祈るばかりです。また
時間を見つけて足を運びたいと思います。正直まだ
まだ皆さんにかけられる言葉が見つからないのです
が、気持は常に福島の方向を向いて、毎日をお過
してあります。避難所で遊んだSちゃんが、早く大好きな
陸上競技をめいっぱい再開できますように。一日も
早く校庭をたくさん走り回れますように。

(23年5月記)

ホットスポットそして特定避難勧奨地点

「特定避難勧奨地点」=事故発生後1年間の積算線
量が20mSvを超える地点が地域の一部に存在
(=ホットスポット:除染が容易でない住居の単位)
で政府の対応は注意喚起、情報提供、避難の支援等、
政府として一律に避難を求めるものではないとい
う。

住民はどうすればいいの?

めぐりあい訪問

in 熊谷・目黒・群馬県片品村でめぐりあい結うすぽ開催

1日目：6月10日（金）

埼玉県熊谷市熊谷スポーツ公園陸上競技場で行われた「陸上日本選手権2011」に出場した今井正人選手の応援をしてきました。

「南相馬市ふるさと元気応援団」では、今井選手のサインが入ったそろいのジャンパーや応援ボードを準備し、甲冑武者がスタンドに陣取る中、埼玉県や近隣に避難している30人を超す南相馬市民が集合し、今井選手の走りに大きな声援を送り、レースの途中では相馬民謡を高らかに謳いあげました。

今井選手も地元南相馬市の応援団の声援にこたえるべく懸命の走りをしてくれました。結果は29分01秒15のタイムで16位と今井選手にとって満足できる結果ではなかったようです。

レース終了後応援団のもとに来てくれて、元気の交歓の時間を持つことができました。甲冑武者から「申し上げます。それがし、NPO法人はらまちクラブ江本理事長付高橋であります。今井選手におかせられましてはレース後にも関わりませず御意を得ましたる段、欣快の至りであります。今後とも精進潔斎を重ねますますご活躍されますことをご祈念申し上げます。」と口上が有り、今井選手からは「南相馬市の皆さんを元気づけるような走りをしたかったのですが、反対に応援の皆さんから元気をいただく結果となり大変悔しいです。これからも精進して、夢をあきらめず、ふるさと南相馬に元気を届けますので応援をお願いします。」とあいさつが有り、その後なげもちで締めくくりました。

「南相馬市ふるさと元気応援団」は今井選手の夢実現＝南相馬市の元気！を応援し続けます。



避難中の小高区の皆さんと、いまいまさると♪ 黄色のウェアの今井正人を囲んで「めぐりあい結うすぽ」記念！

2日目：6月11日（土）

東京都目黒区碑文谷体育館で、当法人と交流のある総合型スポーツクラブ「スポルテ目黒」と東京都や近隣に避難している南相馬市民との「めぐりあい結うすぽ」を行いました。

朝から雨模様でしたが、午後には晴れるという天気予報の中、9:00に碑文谷体育館に到着、早速なげもち用のもちつき準備、東京に在住の南相馬市民も応援に駆け付けもち丸め、おとなも子どもも、初めて丸める人もベテランもテーブルを囲んで粉だらけになりながら丸めました。

13:00体育館には南相馬市民をはじめ「スポルテ目黒」のスタッフや会員の皆さん約100人が集合し「めぐりあい結うすぽ」がスタート。江本理事長から今回の大震災に対しお見舞いや義援をいただいたスポルテ目黒の皆さんに感謝の言葉をお伝えし、甲冑武者が

「申し上げます。スポルテ目黒理事長様におかせられましては日頃よりのご活躍、欣快の至りであります。また先日は多大なるお見舞いを賜りましたる段、江本理事長になり代わりまして厚く厚くお礼申しあげます。今後とも末永いおつきあいをお願い申し上げますとともに、スポルテ目黒様のますますのご繁栄を衷心よりご祈念申し上げます。」と口上を述べました。



もちまるめ



相馬民謡を披露



輪になって盆踊り

このあと、文化の交歓に入り、ボランティアで参加している唄い手の湊さん、尺八の陶さん、三味線の只野さんが相馬民謡（相馬土搦き唄・新相馬節・相馬草刈り唄・相馬盆唄など）を披露、特に新相馬節では♪♪遙かかなたは 相馬の空かよ 相馬恋しや なつかしや～♪♪の歌詞に、思わずふるさとを想い、目頭を押さえる参加者、唄い手の湊さんも何度もこみあげてきて唄えなくなり、中断しながらやっとの思いで唄い切りました。途中、目黒区の国井さんから民謡の文化交歓がありました。相馬盆唄では大勢の参加者が輪になって踊り、最後には、NPO法人はらまちクラブ恒例のなげもちで締め、参加者全員大勢の皆さんとの「めぐりあい結うすぼ」を楽しむことができました。

6月12日（日）3日目：

群馬県片品村「尾瀬パークホテル」「みんなのたまり場じえじえあがっせ」で「めぐりあい結うすぼ」を開催しました。

宿泊した尾瀬パークホテルには4人の南相馬市民が避難されていました。3日目の朝、朝食後この4人の方とホテルのご主人ご夫婦に相馬民謡をプレゼントして「めぐりあい結うすぼ」を行いました。

避難していた鈴木さんご夫妻は「ホテルの関係者や片品村の温かいお気持ちに感謝しています」と話され、一方では「南相馬市の様子が知りたい。情報がなかなか入ってこない」と語っていました。

「じえじえあがっせ」では片品村に避難している南相馬市民約370人の内、約100人が集まりました。江本理事長があいさつし、甲冑武者から「・・・避難をされている皆様にはふるさとを離れ何かとご苦労されていることとお察し申し上げます。また地元の方々には、心のこもったおもてなしを賜りお世話になっている段衷心よりお礼申し上げます次第であります。本日は笑顔あるめぐりあいにしたいと存じますのでよしなをお願いを申しあげるしだいであります。」と口上が述べられ、ボランティアで参加している唄い手の湊さん、尺八の陶さん、三味線の只野さんによる相馬民謡の披露に移りました。



尾瀬パークホテルにて



じえじえあがっせにて

ここでも民謡が始まると、たまらず席を立ち人目につかないところで涙をおさえる人、ハンカチを手に聞き入る人がいて、みんな家に戻りたいんだな～と実感しました。途中飛び入りで民謡を歌う人もいて、盆踊りを踊り、最後には恒例の投げもちで締めくくり、南相馬市民の結う交流をして参りました。

避難者の中にはボランティアスタッフとして、避難者のお世話をしている人もいましたが、

「原発事故が収束し少しでも早く帰れる日が来ることを願っているんです。」

「温かいおもてなしをいただき感謝していますが、やっぱりふるさとが一番です。」と語っていました。

※「じえじえあがっせ」とは相馬弁で“いいからいいから上がってください”ということで南相馬の避難している人たちへの配慮し、命名したと伺いました。相馬弁保存会のホームページを参考にしたそうです。 南相馬は相馬弁を原語としている人が多いです。 相馬弁保存会 <http://emosuzu.bbs.fc2.com/>

めぐりあい訪問（めぐりあい結うすぼ⇒スポット＝繋がる場のこと）を終えて・・・

今回は埼玉・東京・群馬の三か所で「めぐりあい訪問」を行いました。これからも同じ南相馬市の被災者として、めぐりあいの楽しみや喜びを避難している人たちと共有したいと思います。

この3日間を通して避難生活を余儀なくされている皆さんが非常に気丈にされていること、明るくしていること、感謝の気持ちを持って地域の人たちに接していることを実感できました。その反面ちょっとしたことで突然ふるさとを想い悲しくなったり、悔しくなったり、怒ったりという気持ちが湧き出てくることを胸の中に押さえることの苦しさを感じてしまいます。心から笑った時のしわくちゃんな笑顔は見ることができませんでしたが、一日も早く顔中がしわくちゃんになる笑顔になりたいものです。

南相馬市ふるさと元気応援団「めぐりあい訪問」活動予定

7月は16日（土）：福島市あづま総合体育館避難所と南会津町を訪問し「めぐりあい結うすぼ」開催

17日（日）：新潟県の避難者訪問で「めぐりあい結うすぼ」開催

みんなの声

皆さんから多くの声が届きます。電話・メール・お手紙など。
その中から今回は避難している人の声をおとどけます。

私は原町区に住んでいました。3月11日大震災後、原発事故問題で川崎市に避難してきている者です。小学6年生の孫がおり、原町区で小学校が開校せず、4月2日に川崎市向丘に転校しました。児童数1,000人のマンモス校で始業式は校庭で行われました。

いろいろなところから避難してきた子どもたちが8人おりましたが、他県からの人たちの交流がありません。現在神奈川県の高層住宅に住まわせていますが、都会では近所との接点がほとんどなく、見知らぬ土地で不安だらけの毎日でした。

3ヶ月過ぎた今は少しずつ街にも慣れて外出できるようになりましたが、夕方になると故郷が恋しく涙が出てきます。先日区役所で、偶然にも子どもの同級生のお母様に会い、川崎に来て初めて知り合いと話すことができ嬉しかったです。その方からいろいろな情報を得ることができ、日用品を分けていただきありがたく思いました。そこから交流が始まりお茶などできるようになり「めぐりあい」しんさいふっこうニュースを読ませていただき、南相馬の様子を知りました。お世話になった方々の名前を見て、本当に皆さん元気に活躍されていると嬉しくも懐かしくもなり、早速お便りをと思いペンを執りました。「はねくらくらぶ」などでお世話になった皆様によろしくお伝えください。元気ですとお伝えください。

第2号の「遊夢チアリーダー」の活躍を知り、写真で見て子どもたちから元気をいただきました。私自身は孫の世話や面倒をみるためには、2～3年は川崎市民として生活しなければなりません。主人は原町で一人頑張っています。姑(88歳)は今まで自立できていたのにこの3ヶ月で痴呆が進み施設に入所することになりました。皆がちりぢりばらばらとなり、子どもから老人まで原発の被害者です。

私のような老人は外部情報何もなく、いろいろな支援を受けることもなく、必死で暮らしてきました。この「めぐりあい」にめぐりあい、勇気が出ました。これから先6月号～8月号と読ませていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

NPO・ボランティア・民生委員の人たちが頑張ってお世話しているようですが、役所はお役所仕事で避難者の対応が優しく有りませんね。私だけが思うのかも。何かありましたらまたお便りします。

神奈川県に避難中のKさんからのお手紙から

@@@@@6月11日 東京目黒のめぐりあい結うすぽと(めぐりあい交流会)でのお話から@@@@@

東京に避難中のTさん:「病は気からというが、こっちに避難してから体の調子があちこち悪くなった。」新相馬節を聞いた時は思わず涙がほほを伝っていました。

千葉県に避難中のHさん:何ヵ所かの避難所を経て今は息子家族のいる千葉県木更津市へ。親戚の空いていた軒家と畑を借りて野菜作りをしています。「いつ、かえられるんだがな～」と言ってました。

群馬県片品村に避難中のYさん:新相馬節を聞いて思わず「今年の相馬野馬追は？」と心配になりました。連綿と続いている郷土の祭りが気になってしかたない様子でした。

ある社長のぶろぐより ごせやげ場

ごせやくとは相馬弁で腹の立つこと。

参照: 相馬弁保存会

6月22日(水)震災から80日目。台風による暴風雨、放射線数値0.47原発への漠然とした不安を日々の生活で押し殺し話題が出れば苦笑いで消化してます。役所から大雨災害警戒のパトの指示。明日7時までに結果報告せよと。社員は「新田川堤防決壊しているのにパトロール?」私は「遠くから目視。現場まで行かなくてよい」と自主判断。これ以上労災リスク増やすなよ公務員。過去メール同様毎日がこんな感じ。昨夜は夏祭りの実行委員会夏祭りは開催します!やるぞ~!(6月)17日から原町区に借り上げ居住許可。上限6万円(5人家族以上9万円)ドクターヘリ再開。病院5人までの入院許可。6月18日に放射線について講演会。事実上の経済封鎖になっている「緊急時避難準備区域」指定の解除を!これが学校再開の大前提。原町高校は、来年度募集定員百人で調整中。結論は8月予定。避難先ではもう進路指導や志望校調査始まっているのに。先日の会合で先輩の事業主が「黙っていることは現状を認めてしまうことになる。皆で訴えよう!」とできる限り各位情報発信しましょう。

6月22日(水)震災から3ヶ月。快晴で風の吹く午後の原町。2時46分に黙祷。スズリ岩河川公園に犬の散歩。誰もいない。午前中、昨日原二中で講演会をした鎌田實医師一行を連れ、20km圏内、遺体捜索現場の視察。市立小高病院、浪江町請戸漁港、原発5km圏内まで行く。線量計は最大0.87マイクロシーベルト。空気も瓦礫も全く問題ない、同心円規制は解除可能との見解。退避ルートさえ確保してあれば、生活支障なしと。事実を認めない政府とわれわれの意識格差。病院、学校、仕事の規制を解除してほしい。明日は商工会議所にて、商工者向けの東電補償説明会。上限250万円。弊社は申請提出済み。夕方自衛隊にお礼の炊き出し予定が、東京本省より辞退の指示あり中止。地元の思いが上手くかみ合わない。家族が分離している以外、生活は普通に戻りました。家内は娘の練習試合を応援に福島へ。来週も陳情やヒアリング、取材対応を通じて、現状打破の戦いを続ける。3ヶ月の長い間、皆さんとブログで繋がれて心強かったです。有難うございました。

南相馬市東日本大震災慰霊祭が開催されます

1. 日時：平成23年7月3日（日）午前10時から午前11時30分

2. 会場：南相馬市民文化会館（ゆめはっと）大ホール

・ご遺族の皆様にご参列いただきます。

・一般の方は玄関ロビーでご記帳いただきます。

《問合せ先》南相馬市慰霊祭担当 男女共同こども課 ☎0244-24-5215

東北地方の高速道路が無料で利用できます

期間：平成23年6月20日から1年間

対象となる自動車：

①東日本大震災による罹災証明書または被災証明書の発行を受けた方が乗車する自動車

※罹災証明書、被災証明書とも法人、団体に発行されたものは除きます。

※罹災証明書、被災証明書の発行を受けた方の同居家族も含まれます。

②原子力発電所の事故による国が定めた避難区域に住所を有する方が乗車する自動車

利用方法：ETCでのご利用（入口料金所を含む）は無料措置の対象になりません。

①入口料金所では「一般」と表示されたレーンで通行券をお取り下さい。

②出口料金所（料金お支払い料金所）では「一般」と表示されたレーンで係員に通行券をお渡しいただき、下記A及びBの書面をご提示ください。

A 罹災証明書または被災証明書の原本（コピー不可）

※原子力発電所の事故による国が定めた避難区域に住所を有する方は、住所が確認できるBの書面のみでも構いません。

B 運転免許証、健康保険証、パスポートなどの原本（コピー不可）

※同居家族などの住所の確認が必要な場合は、住所記載のものに限ります。

無料措置の対象となる通行料金：下記の区間を入口または出口として取り扱う通行料金

東北自動車道路白河インター以北及び常磐自動車道路水戸インター以北

《お問合せ先》NEXCO東日本お客様センター ☎0570-024-024

※上記の他に、以下の県内有料道路でも当面1年間無料となります。

磐梯吾妻スカイライン・磐梯山ゴールドライン・磐梯吾妻レークライン

あぶくま高原道路（矢吹中央IC～玉川IC間）

《お問合せ先》福島県道路公社 企画グループ 024-521-5530

原町区の病院・入院規制緩和

「緊急時避難準備区域」にある病院の内、下記4病院について6月21日入院規制が解除になりました。

これまで2病院の計10床で原則3日以内の入院しか認められていませんでしたが、

①多くの住民が避難先から戻ったことで救急医療への需要が増えている。

②入院が認められないと病院経営が成り立たないことから

福島県は短期入院に限定する条件で入院規制が解除になりました。

南相馬市立総合病院 70床

渡辺病院 55床

大町病院 50床

小野田病院 30床

相馬野馬追祭行事が決定しました

7月23日（土）

相馬市

出陣式（中村神社）8:30

御発輿（ごはつれん）・お行列開始 9:30 相馬市内

お上がり 16:00 ジャスコから中村神社

お上がりの式 17:00（中村神社）

南相馬市鹿島区

副大将出陣式（副大将宅）11:00

北郷本陣祭（北郷本陣：鹿島区JA広場）12:00

総大将お迎え（北郷本陣）12:40

お行列開始（鹿島区内）13:00

7月24日（日）

南相馬市原町区

例大祭斎行（太田神社）11:00

7月25日（月）

南相馬市小高区

神事（原町区多珂神社の社務所と境内）10:00

出陣式・上げ野馬神事



発行：NPO法人はらまちクラブ 江本 節子
〒975-0071 南相馬市原町区深野字台畑 15-2
電話番号：090-8258-0840
メール：emoto@npoharamachiclub.jp
emoto8@ezweb.ne.jp
emoto88@ybb.ne.jp

第2号 6月27日

この情報誌は、NPO法人はらまちクラブ公式サイト (<http://npoharamachiclub.jp>) および南相馬市ふるさと元気応援団サイト (<http://genki.npoharamachiclub.jp>) よりダウンロードできます。



私たちは負けません

石神二小は石神二笑とし、元気いっぱい、学習が楽しく笑い声の聞こえる学校作りをめざしています。子ども達が学校は楽しいと感じ、生き生きと活動できる学校をめざして、教職員が一丸となって教育活動に努めています。

本校は、明治6年に創立され、長い歴史と伝統を持っています。平成22年度は卒業生が1万人となりました。しかし、記念すべき卒業証書は、まだ学校に保管されています。3月11日の東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故により、学校は休校になり、3月に卒業式は実施できませんでした。

事故後、原町区の大部分は緊急時避難準備区域となり、石神地区では再開できませんでした。幸い南相馬市、市教育委員会、上真野小学校の関係者の皆様のご援助のもとで、上真野小学校の校舎を借りて再開することができました。上真野小学校の3階の各教室を借り、石神第二小学校としての再開できたことは幸いです。

子ども達は、明るく元気に学習に取り組んでいます。たが、外での活動が制限され、さらに登下校は、多くの子ども達は石神二小よりスクールバスを利用しているため、休み時間、放課後等に自由に遊ぶことができません。そのために、学校では、校外活動等で伸び伸びと活動できる時間に努めています。

南相馬市石神第二小学校

〒975-0061 南相馬市原町区大木戸字西原1
☎0244-22-2727 Fax 0244-24-2386
【上真野校舎】
〒979-2451 南相馬市鹿島区浮田1丁目81
☎0244-47-2264 Fax 0244-47-2279



本年度の新入生28名と保護者



正しい歯みきを学ぶ1年生



緑のカーテン作りをめざしてゴーヤの種植え

4月22日(金)に学校が再開されてから2ヶ月が過ぎました。石神二小と240名程の予定でしたが、実際は191名でした。平成23年度の1年生は85名で、全校生で495名のはずでしたが、約310名程が転出しました。5月の連休後に増加を期待しましたが、転入、転出が続き、6月24日(金)で、全校生は178名となっています。転出先は県内が約120名、県外が約190名となっています。転出先は、北は北海道札幌市から南は大分市までで日本各地に広がっています。県内では他の学校と同様に、福島市が多く、県外では新潟県、群馬県、山形県が多くなっています。転出した子ども達が、それぞれの土地で元気に活躍することを願っています。

慌ただしい中で月日が過ぎ、一学期も残り一ヶ月余となりました。原発事故について毎日報道されています。一日も早く原発事故が収束し、石神二小が石神の地に戻り、転出した子ども達が戻ることを切に願っています。

22年度卒業生の卒業を祝う会 8月14日(日) 10:00 石神第二小学校体育館

校外学習（遠足）外で元気に活動してきました。みちのく湖畔公園にて



とてもおおきくて、きれいなこうえんでした。1ばんたのしかつたのはしろいおやまのようなおおきなトランポリンです。みんなでジャンプしました。

【1ねん だて みゆ】



友だち8人でやった足こぎカートが1ばんたのしかつたです。友だちのうしろに上手についていけたらめんきょがもらえるシステムをかんがえてあそびました。マスクをしないで遊べたのでうれしかったです。

【2ねん さいとう あなん】



みちのくこはん公園で楽しかったところは、ジャンピンググドーナツでした。パンフレットで見たときに、ぜったいやりたいと楽しみにしていました。

【3年 遠藤 桜】



いつまで「家に閉じこもっている！」というのかなと毎日思っていました。久しぶりに外で思いっきり走って遊べたことがすごうれしかったです。

【4年 庄司 七海】



あの3月11日の大震災でみんなバラバラになりました。さみしい気持ちもあるけれど、みんな負けないで元気に過ごしています。遠足では、いつも遊べない分まで外で遊ぶことができ本当にうれしかったです。

【5年 青田 健】



小学校生活最後の年に、遠足に行くことができ本当に良かったです。外で思いっきり遊んだことも水に触れてびしょぬれになったことも全部いい思い出です。

【6年 遠藤 照美】

区域外登校のお友だち

※写真が小さくてごめんなさい。

『みんな元気ですか？』『勉強大変だけど、佐原小学校で頑張っています』

福島市立佐原小学校

6年 佐久間遥香

4年 佐久間駿人



『4年生は男子10人、女子10人みんな仲良くしてくれ、平田サッカー少子に入って体育館で練習しています。』

福島市立平田小学校

4年 林 佳太郎



『新しい学校にお友だちたくさんできて楽しく生活しています。』

茨城県稲敷郡

美浦村立大谷小学校

3年 林崎 優朔花



石二小の皆さん有難うございました。次号は上真野小学校・鹿島中学校を特集します。

区域外通学の上真野小学校・鹿島中学校のみなさんの①名前②学校③学年④元気な一言⑤写真

emoto@ezweb.ne.jp emoto88@ybb.ne.jp emoto@npoharamachiclub.jp まで。

特派員報告 噴火災害の地で生まれた「希望」の命

長崎県島原市 古川隆三郎

平成3年の大火砕流によって43名の犠牲者を出した雲仙普賢岳災害から満20年を迎えた島原市で新たな命が生まれました。

南相馬市から避難している佐藤友幸さん(35)・栄子さん(31)夫妻の長女で「希望を持って生きてほしい」と願いを込めて希(のぞみ)ちゃんと名付けました。栄子さんは島原出身の山本安幸さん(56)・美智子さん(54)夫妻の長女で妹のみどりさん(28)ら3家族10人で、島原市へ3月19日に車で到着し市営住宅へ入居しまし

栄子さんは当時妊娠8ヶ月だったため、島原での出産を決意し5月下旬無事希ちゃんを出産し、現在すくすくと順調に育っています。待望の女兒でお兄ちゃんの歩(あゆむ)くん(3)やみどりさんの長男琉彪(りゅうひょう)くん(4)・次男竜紅(るうく)くん(2)ら9人所帯で生活しています。



お父さんの友幸さんは相馬市で暮らす両親や祖母のことを気付かないながらも、現在島原市内の病院で看護助手として働いています。

「将来は南相馬市へ帰ります」と話す友幸さんですが、暫くは島原市で希ちゃんの成長を見守ることになりそうです。

20年前相次ぐ火砕流や土石流で、仮設住宅での長期間の避難生活が続いた島原市での「希望」の命の誕生と明るく頑張る佐藤・山本さんご家族へエールを送ります。



めぐりあい全国特派員名簿

全国各地の特派員です。全国に散らばった南相馬市民の皆さんお近くの特派員まで、声をお届けください。

南相馬市	堀川直人	09089266247	北海道	林恒宏	09069971279
	赤石澤啓雅	09087807208	茨城県	今井一秀	09052362200
	愛原利昌	09062229278	群馬県	小出利一	09039120043
	鎌田博幸	09029902000		片ヶ瀬紀一	0273730510
	高橋由光	09046328240	埼玉県	小野崎研郎	09017356275
	高倉紀子	09055728938		駒宮淳子	0485247067
	高羽生賢次	09073305621	山梨県	芦沢恵介	09033383731
	小松庄一	08055618964	富山県	富山311ネッ	09084750423
	杉森哲也	0244263340	千葉県	林仁ト	09019374813
	山田雅彦	09032376881	東京都	川瀬周平	09040657367
	石川俊彦	09036462159		高野敏雄	09020256065
	大石岳彦	09072408192		吉谷剛	09014075926
	宮下亨	09046320606		森川貞夫	09041215463
	佐久間光弘	0244242953		鈴木昌之	09077389534
	鈴木敬徳	09027944725		澤田和子	0339051830
	片山智之	09022717978		森田織光	0357533931
	江本節子	09082580840		山崎律子	0357260732
	佐々木春水	09020209146		木服藤直隆	09085657022
	佐藤清彦	0244465354		部睦子	09093487627
相馬市	杉岡水佳	09020206757	神奈川県	鈴木優香	09042494334
福島市	奥本英樹	0245488431		西野耕太郎	09086839609
	久保田千春	08055566419	愛知県	江本潤子	09061479606
	古小高祥浩	09087453966	大阪府	松田雅彦	09077532786
	あづま総合体育館(山本聡)	0245931111		樋口祖照	09084801405
	虹の会	0245297021	福岡県	今井正人	***
	ビーンズふくしま	0245636255	長崎県	古川隆三郎	09033283522
三春町	遠藤麻希	08060397732	宮崎県	井上聖子	08039824144
白河市	矢吹和士	09010674067	鹿児島県	太田敬介	0992294222
塙町	藤田健	09068544660	沖縄県	矢貫卓博	09019477935
会津若松市	岩橋香代子	09053541280		長堂和男	09025113562
会津坂下町	二瓶恭子	09087809621			

編集後のつぶやき
 ・相馬節 胸にしみいる 夏の空
 ・いつまでも 続けられない ありがとう
 あかのふたこと